



平成19年9月25日

各位

会社名 株式会社 ダイセキ環境ソリューション
 代表者名 代表取締役社長 二宮 利彦
 コード番号 1712 東証マザーズ
 問合せ先 取締役企画管理部長 村上 実
 電話番号 052(611)6350 (代表)

当社の親会社 株式会社 ダイセキ
 代表者名 代表取締役社長 伊藤 博之
 コード番号 9793 東証・名証第一部

平成20年2月期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の状況を踏まえて今後の動向を検討した結果、平成19年6月28日に公表いたしました平成20年2月期(平成19年3月1日~平成20年2月29日)の業績予想について、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期業績予想数値の修正(平成19年3月1日~平成19年8月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	3,464	406	233
今回修正予想(B)	4,011	492	292
増減額(B-A)	546	85	59
増減率(%)	15.7	21.0	25.6
前期(平成18年8月中間期)実績	2,725	222	133

2. 通期業績予想数値の修正(平成19年3月1日~平成20年2月29日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	7,066	783	450
今回修正予想(B)	7,613	868	509
増減額(B-A)	546	85	59
増減率(%)	7.7	10.9	13.2
前期(平成19年2月期)実績	5,643	558	325

3. 修正理由

不動産売買をはじめ、減損会計、環境報告書他、様々な経済活動の中で、土壤汚染に係わる環境リスクの認識が一層深まり、一般化しつつあります。そうした社会的背景のもとに、土壤調査・処理とも、実施件数は着実に増加しており、当中間会計期間は期首からの受注が好調に推移したことにより、業績の大幅な伸張が見込まれることとなりました。また、足元の受注状況につきましても引き続き順調に推移しており、下期につきましてもこの受注状況が概ね継続するものと思われまます。

これらの状況を背景に、当中間期の売上高は4,011百万円(前回予想比546百万円の増加)、経常利益は492百万円(前回予想比85百万円の増加)、当期純利益は292百万円(前回予想比59百万円の増加)となる見込みであります。

また、通期につきましても、売上高7,613百万円(前回予想比546百万円の増加)、経常利益868百万円(前回予想比85百万円の増加)、当期純利益509百万円(前回予想比59百万円の増加)となる見込みであります。

以上